

# ななお

NANAO CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY

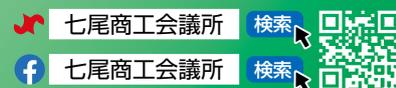
# 会議所だより

2021.12月号

No.612

<https://www.nanao-cci.or.jp>

[mail:office@nanao-cci.or.jp](mailto:office@nanao-cci.or.jp)



## CONTENTS

- 令和3年度会員大会／特別講演会…………… 2
- 令和3年度会員大会受賞者一覧…………… 3
- 七尾市への要望…………… 4
- のと・七尾共創塾／部会長・委員長懇談会…………… 5
- N-As通信…………… 6
- 支援制度／セミナーのご案内…………… 7
- 工業部会／建設業部会…………… 8
- 青年部だより…………… 9
- 女性会だより／中小企業振興委員会／七尾未来アワード… 10
- 青色申告会／国民年金保険料免除の申請／年末年始休館／年会費ご納入のお礼…………… 11
- 渋沢栄一とその思想に学ぶ／行事カレンダー…………… 12

表紙写真：朝もや（中島町別所岳 標高358m）

# 令和3年度会員大会

## 永年勤続優良従業員 113名を表彰



当所は11月18日(木)、石川県七尾美術館アートホールで会員大会を開催し、賀表贈呈、日本商工会議所会頭感謝状伝達、全国商工会議所女性会連合会会長感謝状伝達、永年勤続優良従業員113名の表彰を行いました。

大林会頭は、のと・七尾共創塾や七尾市と連携してSDGsを促進させる能登SDGs市民大学の取り組みに触れ、「次代の担い手を育てる取り組みを推進し、地域経済の発展のため今後も精力的に取り組んでまいります」と挨拶しました。

女性会前会長で特別顧問の木下八重子氏に賀表と全国商工会議所女性会連合会会長感謝状が大林会頭から手渡され、次いで、日本商工会議所会頭感謝状が杉野副会頭から大林会頭と春木昭樹氏（前常議員）の両氏

に贈られました。

引き続き、永年勤続優良従業員の表彰式が行われ、30年以上、25年以上、20年以上、15年以上の受賞者113名に賞状と記念品が授与されました。

谷本正憲石川県知事（代理：西村聡石川県商工労働部課長）、茶谷義隆七尾市長、西田昭二衆議院議員（代理：西田早苗氏）、近藤和也衆議院議員、和田内幸三石川県議会議員、清水真一路石川県議会議員から祝辞を頂いた後、受賞者を代表して七尾海陸運送(株)岩崎昌敏さんが「今後も事業の発展のために尽力いたします」と謝辞を述べました。

佐藤喜典市議会議員が万歳三唱を行い、赤副会頭が挨拶を述べて閉会しました。

受賞された方の一覧は右記のとおりです。



春木昭樹さんの授与の様子



木下八重子さんの授与の様子



謝辞を述べる岩崎昌敏さん

# 会員大会特別講演会

## 地域の“宝”を掘り起こす ～フィルム映像が語る 石川県の素顔～

NHK金沢放送局では、石川県の「宝」を掘り起こす試みとして、戦前・戦後に撮影されたフィルム映像を再編集し、地域の歴史や文化、人々の営みを紹介しています。



ご登壇される小原美和局長

そこで当所は、日本放送協会金沢放送局 小原美和局長をお迎えし、「地域の“宝”を掘り起こす～フィルム映像が語る石川県の素顔～」と題し特別講演会を



開催しました。

加賀・能登の懐かしの映像を交えながら、制作の舞台裏やICT技術でよみがえるアーカイブ映像の可能性について話されました。また会場ではその場所に行ったかのようなバーチャル映像を体感し、アーカイブの可能性の一部に触れられました。小原局長は「アーカイブは現在の様々な知的営みを支えると同時に、それらを将来に残し、伝えていくための重要な役割をもっている」と述べられました。



# 令和3年度会員大会 受賞者一覧

(敬称略)

## 賀表贈呈

七尾市産業賞  
木下八重子  
(女性会前会長・特別顧問)

## 日本商工会議所 会頭感謝状伝達

表彰規則第2条2項  
(役員・議員20年表彰)  
大林 重治(会 頭)  
表彰規則第2条1項  
(役員・議員退任表彰)  
春木 昭樹(前常議員)

## 全国商工会議所女性会連合会 会長感謝状伝達

表彰規則第2条  
(特別功労者表彰)  
木下八重子  
(女性会前会長・特別顧問)

## 永年勤続優良従業員表彰 30年以上表彰者(13名)

のと共栄信用金庫  
浅田 美紀 真田 敦子  
瀧の川運輸株式会社  
岩崎 竜也  
株式会社佐々波鮎網  
吉野 宰  
丸一運輸株式会社  
安達 健一  
株式会社パナシス七尾  
西田さゆり  
株式会社環境日本海サービス公社  
川端 秀法  
七尾海陸運送株式会社  
岩崎 昌敏 坂口 和彦  
株式会社スギヨ  
小林 紀人  
住友生命保険相互会社新七尾支部  
進藤美智子 達 悦子  
株式会社香島津  
長谷川孝子

## 25年以上表彰者(19名)

株式会社加賀屋  
久村 大介 笹弥 克人  
丸一運輸株式会社  
久保 智樹 久岡 和俊  
垣内 京子  
有限会社七尾自動車教習所  
岡原 克久  
新保会計事務所  
河野葉寿美  
株式会社パナシス七尾  
西田 有志  
株式会社田村工業  
古屋 久江  
株式会社スギヨ  
高瀬 保 播戸公太郎  
北野 浩良 稲垣 正明  
馬場 裕之 宮 正樹  
池岡 幹人  
株式会社大湯板金  
辻井 裕子  
イソライト工業株式会社七尾工場  
百海 清勝  
吉田道路株式会社  
堂谷内直人

## 20年以上表彰者(40名)

のと共栄信用金庫  
加藤 健人 谷内美有希  
株式会社能登半島  
桑原 智之  
丸一運輸株式会社  
木村 和久 平澤 克明  
能登環境株式会社  
長門石 武  
石川交通株式会社七尾営業所  
合田 繁  
濱屋織物株式会社・ホテルアリヴィオ  
大原誠一郎  
株式会社高澤商店  
白井 恵子  
株式会社スギヨ  
鷹合 清宏 大根 貢久  
奥村 修 宿谷 浩義  
天近 徳弘 谷場 達雄  
瀬戸 久明 山崎 義則  
野崎 篤史 前吉 克彦  
池島 光明 野崎ゆかり

齋藤さなえ 齋藤 修弘  
川島 隆征 福田 美幸  
盛實 文彦 山岸 直嗣  
寺下 真美 新田 宗大  
橋 紳也 中野 弘人  
中村寿美代 松井 克支  
西村 雅宏

イソライト工業株式会社七尾工場  
岡部 達 両川 広一  
中田三喜男 川淵 忍  
吉田道路株式会社  
久保田佳一 柴垣 勇一

## 15年以上表彰者(41名)

株式会社のとと  
酒井真奈美 本田 裕人  
株式会社大蔵  
宮本 助登  
有限会社七尾自動車教習所  
小橋 裕子  
新保会計事務所  
廣澤 良子 藤本 真紀  
ネオ工業株式会社  
大門 剛三  
石川交通株式会社七尾営業所  
受川 裕一 若狭 隆之  
株式会社近藤鉄工建設  
高石 佳子 水田 弘  
芝田 庄二  
株式会社環境日本海サービス公社  
袋井 由夫 吉田 大輔  
寅松 和也 金谷 俊一  
濱屋織物株式会社・ホテルアリヴィオ  
福久 貴志 宿谷 千晶  
株式会社スギヨ  
青木 徹也 中村 光博  
宝 泉 倉持 知義  
鈴木 静香 鈴木 啓稔  
藤島 俊 古川 浩介  
浦田 静代 中村 祐貴  
ダンキムチャム  
島 達也 小山 陽一  
麻生 均 白藤 武  
竹口 大輔 中山 達也  
室塚 あき 小原 涼太  
歌方 学 西野 康幸  
干野 昌子  
株式会社香島津  
春成富士子

# 令和4年度七尾市当初予算に対する要望書を提出 まちづくりコミュニティ財団設立を

七尾商工会議所は11月24日(水)、茶谷義隆七尾市長に令和4年度当初予算に向けた要望書を提出しました。

冒頭、大林会頭が「茶谷市長の七尾市に対する意欲と熱意が伝わってきます。茶谷市長には虚心坦懐に懇談できる機会を設けていただき、いろいろお話を聞いていただき感謝申し上げます。本要望が実現できるよう、ご理解・ご支援をお願いします」と要望書を手渡しました。

要望では、人口減少が地域社会や経済に深刻な影響を与えていることを踏まえ、地域の課題解決のための「まちづくりコミュニティ財団(仮称)」の設立や駅前を中核とする中心市街地再構築への研究及び提案する組織設置。雇用の確保(アフターコロナを見据えた観光施策、入札制度の改善)、雇用の創出(移住・定住の促進、遊休公共施設の有効活用、特定地域づくり事業協同組合)を提案しました。

茶谷市長は、「本要望は、私が以前から検討していることと同様の考えであり、まちづくりコミュニティ財団については、市民の活躍の場になりますし、市出身者やゆかりのある人などの市外対象者が活躍できる



正副会頭等が茶谷市長に要望しました

受け皿にもなります。公益財団ならば寄付税制も受けやすい等のメリットも多いです」また、「中心市街地活性化に対しては、賑わい創生プロジェクトチームを立ち上げます。商工会議所、民間、有識者(専門家)等のメンバーで活性化策に取り組んでいきたいです」「雇用確保等については、具体的な支援策について経済界の皆さまと一緒に協議を重ね、前向きに検討したいです」とご回答いただきました。

茶谷市長への要望後、七尾市議会の佐藤喜典議長らへ同要望書を提出しました。

## 要望(要約)

### I まちづくりコミュニティ財団(仮称)の設立

市が課題に的確に対応できるよう、官民一体となった課題解決のための組織設置の検討。

地域の課題解決のために活動している市内の地域づくり協議会をはじめ、地縁型の地域づくり組織への自立化支援等多種多様なまちづくり活動をサポートできる。

課題解決に向け行動する人が増え、要望型市民ではなく、「提案型市民」が育つことにつながる。

### II 中心市街地活性化

駅前を中核とする中心市街地再構築への研究及び提案する組織の設置(組織案:創生なお、経済団体、観光団体、市内外の有識者、学識経験者等)

駅前・商店街・能登食祭市場までを含む将来ビジョンの策定

### III 雇用の確保

#### 1. アフターコロナを見据えた観光施策

- (1) 宿泊業者・地域団体に対する経営基盤の強化
  - ① 地方創生臨時交付金等での観光財源への充当指定
  - ② 宿泊業に特化した持続化給付金の継続
  - ③ 固定資産税の減免(又は免税)の特例措置の延長
  - ④ 地域団体の旅館組合に対する運営支援

#### (2) 観光消費(旅行・飲食)喚起に対する強化

- ① わかりやすく使いやすい、七尾宿泊割(仮称)の継続
- ② わかりやすく使いやすい、七尾飲食割(仮称)の継続

#### 2. 入札制度の改善

- (1) 公共事業の予算確保を図り、地元業者へのさらなる受注機会を与える配慮
- (2) 発注工事の規模や特殊性に応じて参加者の格付に配慮
- (3) JV(共同企業体)は、大手業者と七尾市内業者とする配慮

### IV 雇用の創出

#### 1. 移住・定住の促進

- (1) 市がリーダーシップをとり、すぐに住める物件の確保
- (2) 人材を必要とする企業等の情報を把握し、「攻め」の姿勢での対応

#### 2. 遊休公共施設の有効活用

- (1) 官民一体での七尾市内の遊休公共施設の利活用・処分方法の研究
- (2) 廃校の運動場広場を移住希望者や地元の若い世代等が住める住宅地として開発

#### 3. 特定地域づくり事業協同組合の導入検討



## のと・七尾共創塾

当所は11月8日(月)、2階大ホールで第2回のと・七尾共創塾講義を開催しました。

共創塾では、基調講演やパネル討論を行い、約90人の参加者は七尾湾の保全について学びました。

基調講演は、宮城県気仙沼市のNPO法人「森は海の恋人」理事長の畠山重篤氏のお話で、「鉄を知らないと海の環境は語れない」と強く協調されました。パネル討論会は、畠山氏、会宝産業株式会社の近藤典彦会長、前日本銀行金沢支店長で日本金融人材育成協会長の森俊彦氏が、金沢大学の松島大輔教授のコーディネートで、七尾湾の藻場保護について議論しました。

第3回は、11月13日(土)、当所で開催し、株式会社ノトアロイ代表取締役会長佐々木暢盈氏が講演しました。

佐々木会長は、会社のコアコンピタンス（自社ならではの価値・強み）を向上させるため、従業員には経営者意識をもって仕事に従事することを啓蒙し、従業員の意識向上のために資格試験の受験を推奨していると述べられました。

第4回は、11月20日(土)、七尾市役所201会議室で開催され、塾生は、これまでの講師の言葉を思い起こし、12月11日(土)に開催されるプレゼンテーション作りに励みました。

プレゼンテーションは、能登食祭市場で開催されます。



第2回 パネル討論会で発言する近藤典彦会宝産業株式会社会長



第3回 塾生と質疑応答する佐々木暢盈(株)ノトアロイ会長



第4回 プレゼンテーション作成に励む塾生

### 商工会議所 運営委員会

## 「部会長・委員長懇談会」を定期開催し、1600会員のため、より良い事業推進を!!

商工会議所運営委員会（瀬上博委員長）が主管し、11月26日(金)、和倉温泉加賀屋にて「部会長・委員長懇談会」を開催しました。部会長・委員長等、13名が出席しました。

本懇談会により、部会長・委員長相互の親睦が深められ、有益な情報収集や情報共有が図ることができました。

情報共有が促進されることで、部会・委員会の関心事項や共通課題に対して、部会・委員会間が相互連携した新しい事業活動が可能となります。

本懇談会では、「市と民間が、駅前ビジョンを検討する場が必要ではないか。地域内で何度も循環させる地域内経済循環を進める必要があるのではないか。地域内チャレンジを応援し続ける仕組みが必要ではないか。コロナのお陰でIT活用が急速に進んだのではな

いか」等の意見がありました。

今後も本懇談会を商工会議所運営委員会が主管し、部会・委員会に対する相互理解や課題共有に基づき、1600会員のためのより良い事業展開を実現するため定期開催（年3～4回）することを申し合わせました。



部会長・委員長懇談会の趣旨説明する瀬上委員長

## 七尾(N)の明日(As)の経営／経営のなやみ、なんでも、お手伝い

### ■ 能登SDGs市民大学 第2回講義

ななおSDGsスイッチ主催による「能登SDGs市民大学」の第2回講義が開催されました。本市民大学は、七尾市とその周辺地域に所在を置く、または七尾市とその周辺地域に縁、関心のある高校生以上のSDGsやESG経営、地域の課題解決に興味関心のある事業者・一般市民・学生を対象として、SDGsに関する様々な知見を有する講師をお招きし、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に関する基礎的知識や、事業におけるSDGsの推進について、計6回のカリキュラムを受講することで、幅広い知識の習得を目指すものです。

第2回講義前半では、国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニットより事務局長の永井三岐子先生をお招きし、なぜSDGsに取り組む必要があるのか、SDGsの成り立ちや基礎知識について学びました。

また後半では、環境省中部地方環境事務所より佐藤堅太先生、環境省中部環境パートナーシップオフィスより富田夏子先生がオンラインでご登壇頂き、経済面・社会面・環境面が繋がっており、SDGsの推進が3面へのアプローチとなることや、ローカルSDGs（地域循環共生圏）について、日本各地の事例をもとに学びました。



リアル会場の様子



ご登壇される永井三岐子先生



オンラインで登壇される富田夏子先生

### ■ イチから分かるLINE公式アカウント活用講座 開設から活用方法まで丁寧にアドバイス!!

七尾商工会議所・ななお経営支援センターは11月24日(水)・12月2日(木)・3日(金)、大和タクシーコールネットの野田進也部長を講師に招き、「イチから分かるLINE公式アカウント活用講座」を開講しました。3社延べ7名が参加しました。

LINE公式アカウントは、宣伝広告にはあまり費用をかけたくないが、お客様に対して『企業・お店』の情報配信をしたい方に向いています。

今回、『企業・お店』の情報が配信でき、売上アップ・集客アップに繋げることを目的に開講しました。

野田講師は、「LINE公式アカウントの機能を把握し、自店舗に合った活用方法を理解したうえで、売上アップ・集客アップに繋げるために、何より実践が大事!!」と説きました。



マンツーマンの活用講座

以後、受講者には専門家派遣事業を通じて、LINE公式アカウント利活用のフォローを実施します。



## 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者の皆様への主な支援制度【専門家派遣編】

### 【石川県】

専門家のアドバイス	コロナ禍の様々な経営課題の解決に向けたアドバイスがほしい	県	① <b>経営力強化総合支援アドバイザー派遣</b> 随時受付	経営課題に応じて、各分野の専門家を無料で派遣(※) (※) 原則、派遣回数に制限なし。同時に複数の専門家も派遣可。	県内商工会議所・商工会、(公財)石川県産業創出支援機構、中小企業団体中央会
	雇用維持に係る助成金や、労務管理について、アドバイスを受けたい	県	② <b>雇用維持アドバイザー派遣</b> 随時受付	社会保険労務士を無料で派遣	石川県商工労働部 労働企画課 <b>076-225-1531</b>
	社内のデジタル化の取り組み(テレワーク、生産現場の効率化、RPA)をサポートしてほしい	県	③ <b>デジタル化推進経営アドバイザー派遣</b> 随時受付	デジタル化の推進に精通する専門家を無料で派遣	(公財)石川県産業創出支援機構 デジタル推進課 <b>076-267-1001</b>

※令和3年11月1日時点の県(関係団体含む)の主な支援策をまとめた一覧です。支援内容の詳細や最新情報は、各連絡先までお問い合わせ下さい。

### 【国】

高次アドバイス 事業計画等の策定・実施	新型コロナウイルスによる影響も含めた中小企業・小規模事業者等が抱える悩み・問題等課題の発見と解決に向けたアドバイスがほしい	国	④ <b>中小企業119</b> 随時受付	経営課題に応じて、各分野の専門家を無料で派遣(※)(※1年度当たり、1事業者につき原則3回迄。但し、IT関連の支援課題では5回迄。派遣期間は、令和4年2月末迄。)	七尾商工会議所 ななお経営支援センター <b>0767-54-8888</b>
	コロナ禍から今後も経営が持続可能となるために、事業計画の策定から販路開拓までの一貫した支援を受けたい	国	⑤ <b>伴走型小規模事業者支援推進事業(専門家の活用)</b> 随時受付	経済産業大臣から認定された「経営発達支援計画」に基づく伴走型の経営支援として、小規模事業者の経営力の強化、売上・利益の確保と向上のために、経営状況の分析から事業計画の策定・実施、新たな需要・販路開拓に至る一貫した支援に無料で派遣(※)(※派遣期間は、令和4年2月上旬迄)	

■石川県・国の各専門家派遣制度の活用サポートを行っています。➡七尾商工会議所/ななお経営支援センター(七尾市三島町70-1) ☎0767-54-8888

30名限定  
(先着順)

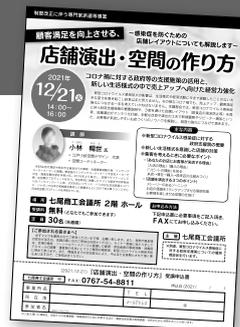
## 顧客満足を向上させる 店舗演出・空間の作り方

3密を避けた店舗レイアウト、店舗演出のマンネリ化を打破、手軽な改良や演出の工夫でお客様が来店しやすいお店づくりのノウハウを解説します。

【日時】令和3年12月21日(火) 14:00~16:00 【場所】七尾商工会議所 2Fホール

【講師】小林 暢世(江戸小紋空間デザイン代表) ※詳しくは同封のチラシをご覧ください。

お申込み・お問い合わせ先 七尾商工会議所・ななお経営支援センター TEL 0767-54-8888



30名限定  
(先着順)

## 販路開拓に繋がるチラシ・DMの作り方

新型コロナウイルス感染症に伴う政府支援施策の概要説明や、コロナ不況の中でも販路開拓に繋がる手作りチラシ・DM作成方法のノウハウを解説します。

【日時】令和4年1月21日(金) 14:00~16:00 【場所】七尾商工会議所 2F研修室

【講師】小熊 憲之 ※詳しくは同封のチラシをご覧ください。

お申込み・お問い合わせ先 七尾商工会議所・ななお経営支援センター TEL 0767-54-8888



定員会場50名  
オンライン50名  
(先着順)

## 外国人雇用に向けた働き方 改革関連法と労務管理講習会

外国人労働者が日本の企業で長く働けるための募集から労務管理についてわかりやすく解説します。

【日時】令和4年1月28日(金) 18:30~20:30 【場所】七尾商工会議所 2Fホール

【講師】蔵中 一浩(横浜リンケージ社労士事務所代表) ※詳しくは同封のチラシをご覧ください。

お申込み・お問い合わせ先 七尾商工会議所・ななお経営支援センター TEL 0767-54-8888



## 石川県産業創出支援機構(ISICO)の支援施策を伺う ～新たな製品・サービスの開発を～

当商工会議所工業部会（宮崎博部会長）は、11月15日(月)、令和3年度第2回役員会を開催しました。

特別ゲストに、石川県産業創出支援機構コンサルティング事業部の田西秀紀・経営支援課長を招き、「石川県産業創出支援機構(ISICO)の概要と支援施策」について、知見を深めました。

田西課長から、石川県産業創出支援機構が実施する専門家派遣・経営全般に関する事業、全国最大規模のファンドを活用した研究開発等支援事業、新たな商品・サービスの開発・販路開拓に要する事業に対する助成制度等の説明がありました。

懇談会では、「エネルギー関連の業務を担っている者として、カーボンニュートラルの実現に向けた国施策等と併せるように、県施策にもエネルギー関連の補助金があると嬉しい。規制はあるが、災害時に活用できるエネルギー備蓄（避難予定場所に小さいタンク設置）などへの補助も考えられるのではないか」等の意



見がありました。

石川県事業承継・引継ぎ支援センターが推進する事業については、「人手不足により企業を丸ごと買いたい会社とマッチング業務が増加していることや、一般人が創業するにあたり、新規開業だとコストが多くなるため、事業を承継するカタチで創業するケースも増えている」と説明がありました。

懇談会后、工業部会は石川県産業創出支援機構と連携を深め、支援施策等の経営に関する施策普及などを実施し、市内製造業の活性化を目指すこととしました。

## 入札制度の改善、遊休公共施設の有効活用 ～市の次年度当初予算に向けた要望事項を確認～

当所建設業部会（姥浦昭二部会長）は11月25日(木)、当所で11月定例会を開催し、市の令和4年度への要望事項の確認及び部会の令和4年度事業計画等について協議しました。

当会議所では11月24日、市長及び市議会議長宛に令和4年度七尾市当初予算に対する要望書を提出しており、その中に当部会からの要望事項は、雇用の確保として「入札制度の改善について」と雇用の創出として「遊休公共施設の有効活用について」が提案されているので、改めて内容を確認し、同時に当所の要望書全体も一覽しました。

当部会の令和4年度事業計画（案）は、市への要望事項の採用可否は分からないが、市長や市議会との懇談会や意見交換会等を重ねながら、これらの要望の実現を目指すことを方針とし、次回1月定例会で決めるとしました。

姥浦部会長は、部会1期3カ年の3年目の事業計画のため「他の重要な業界からの要望を実現するためにも、次の3箇年に繋げるものにしたい」として出席役員の見解を得ました。

### 【独自名簿の発行】

9月定例会で具体的になった当部会の独自

名簿「七尾市内の工事屋さん」（仮称）は、今年度末3月に発行するとしました。最初に建設業界は複数の事業区分があり裾野が広く複雑なため、消費者が利用し易い事業区分への整理と表現の見直しを図り、対象企業は来年1月時点の会議所会員企業として、対象企業と記載内容の確認から行うことにしました。

定例会は最後に、姥浦部会長が「市への要望の結果を検証し、地元建設業界全体の浮揚のために一致団結して取り組んでいきたい」と今後への認識共有を求めて閉会しました。

なお、来年の1月定例会は20日前後か下旬ごろに新年会も兼ねて開催する予定としました。



市への要望と連携した次年度事業計画等を協議する定例会



## 青年部 だより

# 特産品開発協業プロジェクト 石川里山ファンド採択交付式に参加

七尾商工会議所青年部地域向上委員会、ミシュランガイド北陸2021特別版に掲載された七尾市内の若手シェフ3名、一般社団法人ななお・なかのと就労支援センターと協業している産福職連携特産品開発事業「能登野菜や能登島の塩等を使ったドレッシングの開発」が石川県の里山振興ファンドに採択され、10月28日(木)、石川県地場産業振興センターで採択交付式が行われ、当所青年部から五十嵐委員長、採択団体であり、当青年部メンバーでもある一般社団法人ななお・なかのと就労支援センター代表理事の瀧川嘉明氏

が出席し、採択書を受け取りました。

この採択をうけ、この事業への期待の高さを感じました。ドレッシングは、令和4年2月の完成・発売に向け事業を進めています。

採択書を手にする ▶  
瀧川代表理事



## 令和4年度会長予定者に尾古隆史君を選出 七尾商工会議所青年部臨時総会を開催

七尾商工会議所青年部（会長：瀬口功雄）は11月29日(月)、令和3年度臨時総会を和倉温泉「あえの風」で開催しました。

瀬口会長は、冒頭「コロナウイルス感染症が落ち着きつつありますが、新たな変異株も出てきています。この落ち着いて来ている時期に皆さんと顔を合わせて臨時総会が出来たことは非常にうれしく思います。今回の臨時総会では令和4年度の会長候補予定者を決める重要な臨時総会です。皆様方の慎重審議をお願いします」と挨拶しました。

その後、議事に入り、瀬口会長より次年度会長候補者として、令和3年度専務理事の尾古隆史君（フタバ・コーポレーション(株)代表取締役）が推薦上程され、満場一致で、可決承認されました。

尾古隆史令和4年度会長予定者は、就任挨拶で、「ただ今、皆様にご承認いただき身の引き締まる思いでございます。令和4年度は、令和5年に石川県で開催される全国大会に向けて重要な年となってきます。



青年部臨時総会

青年部の皆様のご協力を得て、一年間精一杯会長職を務めさせていただきますので、ご協力をお願い申し上げます」と挨拶されました。任期は、令和4年4月1日～令和5年3月31日までの一年間です。



尾古会長予定者

臨時総会終了後、石川県商工会議所青年部連合会の全国大会準備委員会による全国大会のプレゼンテーションが行われました。

## 新入会員歓迎！

### 「控え目に年の瀬親睦会」12月定例会開催

七尾商工会議所青年部（会長：瀬口功雄）は12月3日(金)、和倉温泉「ホテル海望」にて12月定例会を開催しました。

今年度入会した新入会員に瀬口会長よりバッジの贈呈式が行われ、その後、2021年の締めくくりとしてコロナウイルス感染症対策を充分に行った上で親睦会

と銘打ったお楽しみ例会を開催し、新入会員との交流を図りました。今年度は、12月3日現在8名が入会しています。



新入会員にバッジを贈呈

## 女性会 だより

# 香りのガーランド教室 ～香りの記念日イベント～

11月7日(日)、香りの記念日イベント「香りのガーランド教室」を、当所にて開催しました。

今回は、香りの記念日「10月30日」よりも遅い開催でしたが、午前と午後の部、合わせて60名の方に参加していただきました。

女性会会員のさいだ花店の齊田真紀氏を講師に、「花冠」や「花輪」という意味がある「ガーランド」を香りの良いヒバや針葉樹林などを取り入れて、クリスマスバージョンのガーランドを作成しました。参加者は、花材は同じでも、形も雰囲気も違う唯一無二の「香りガーランド」を楽しみながら、完成させました。

「香りの記念日」は、平成5年に七尾市が制定した記念日です。今後も、「香りの記念日」とともに、日々の生活



香りの記念日イベントの様子

に「香り」を取り入れる提案やイベント企画などの活動をしていきます。

## 中小企業振興委員会 電子通貨「SATO」検討

中小企業振興委員会は、当所にて11月8日(月)に委員会を開催し、電子通貨「SATO(サト)」導入について検討をしました。

SATO(サト)は、世界農業遺産「能登の里山里海」の保全を目的とし、金沢大学と連携し七尾市内で流通させるものです。将来的には、環境保全や祭りの手伝いなど、自然や文化、社会にまつわる活動を貨幣に換算して価値を「見える化」し、地元の商店などで

利用できるようにします。

実用に向け、11月20日(土)一本杉通りで初めての実証実験が行われました。金沢大学の学生や市内の飲食店などが参加し、スマートフォンのアプリに入ったSATO(サト)の使い勝手を確かめました。

今後も様々な実証実験を重ね、2025年までの流通を目指し、能登だけでなく世界中にも広めたいとしています。

賞金総額100万円以上!!  
七尾未来アワード

皆さまの身近な取り組みが、  
七尾の未来につながっていく!!  
七尾を元気にするプロジェクトを大募集します。

100

nanao 100 project

### 表彰の特典

活動費用が授与されます。

■ グランプリ **50**万円

■ 優秀賞 **20**万円 ほか  
活動部門/アイデア部門

応募はコチラから!



お問い合わせ

七尾商工会議所 七尾の未来構想委員会  
〒926-8642 石川県七尾市三島町70-1  
Fax : 0767-54-8811 office@nanao-cci.or.jp  
<https://www.nanao-cci.or.jp/award/>

☎ 0767-54-8888

※詳しくは同封のチラシをご覧ください。



# 会費増の請求・納付、機関誌の配布等を協議

## 税務署管内青申会連合会が役員会・研修会を開く

七尾税務署管内青色申告会連合会（中越政秀会長）は11月19日（金）、当所にて管内7青色申告会から各会長や担当者が出席して役員会を開催しました。

今回は昨年から続くコロナ禍により、青色申告会の全国組織と県組織のほぼ全ての会議等活動が中止の中、全国組織より税務署管内用として「指導者研修資料2021年」が届いたことによるその配布のためと、今年度からの全国組織の会費増額と機関誌の配布について、確認するためです。

「指導者研修資料2021年」は、全国の青色申告会の現状と今年度の活動方針・目標・要望等が記載され、例年9月に開催される北陸信越ブロック大会での資料であり、各単位会に2～3冊ずつ配布しました。

全国組織の会費増額と機関誌の配布では、昨年度に当連合会は承諾していますが、具体的な請求と納付の在り方・仕方と機関誌「BLUE RETURN 青色申告」の配布の仕方について検討・協議しました。

会費増額分の請求と納付は、従来同様に当連合会事務局から各単位会への請求・納付のやり取りとし、機関誌の配布は事務局から各単位会へ配布し、各単位会が各個別会員へ配布することになりました。

また、コロナ禍の収束具合によりませんが、来年1月20日前後に役員懇談・交流会を予定することとしました。

最後に、中越会長は「管内連合会として各単位会の異なる事情を抱えており厳しく難しい面を共有しているつもりであり、年内には増額分を含む会費納入と機関誌の配布をお願いしたい」と賛同を得て締め括りました。

会議後には、半田あおい七尾税務署長を講師に招いて、「税を考える週間卓話」として『税務行政のデジタルトランスフォーメーション』をテーマにして役員研修会を行いました。

これからは国全体でデジタル・トランスフォーメーション（DX）により、経済社会のサービスや仕事の在り方の変革が推進され、税務行政も例外ではないため、現在の将来像を構築しています。

半田税務署長は「あらゆる政務手続が税務署に行かずにできる社会を目指す」として国が構想する将来イメージの一旦を説明しました。

利用者・納税者の目線と利便性の向上が大前提として、例えば『確定申告（納付・還付）-申請・届出-納税証明書の手入-相談』等が、スマートフォンやパソコンを使って、いつでも・どこにいてもできる、こととなります。

なお、これらの構想が具体的に実現し稼働する時期・期限等は未定となっています。



DXによる税務手続の将来像を説く半田七尾税務署長（中央奥）

### 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少している方へ

## 国民年金保険料免除の申請ができます

簡易な所得見込額の手続により、申請が可能となりました。

手続の方法や申請書等は、日本年金機構ホームページに掲載しております。

<https://www.nenkin.go.jp/>

日本年金機構



郵送による申請をご利用ください

ご相談は「ねんきん加入者ダイヤル」へ

**TEL 0570-003-004**

050から始まる電話でおかけになる場合は  
(東京) 03-6630-2525

— ねんきん加入者ダイヤルの相談受付時間 —

8:30～19:00（月～金曜日）

9:30～16:00（第2土曜日）

または、お住まいの市区役所・町村役場やお近くの年金事務所へお気軽にお問合せください。



会員の皆さまへ

### 年末年始 休館のご案内

七尾産業福祉センター（七尾商工会議所）は**12月29日（水）～1月3日（月）**まで休館とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

### 令和3年度会費 ご納入のお礼

七尾商工会議所 総務課  
TEL54-8888

会員の皆様には、日頃より当所運営につきまして、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。11月18日（木）に口座振替の事業所様のご指定口座より今年度の会費を振替させていただきました。

また、口座振替を利用されていない事業所様にも会費納入を賜りましたこと併せて厚くお礼申し上げます。なお、今後口座振替をご希望の方は、ご連絡ください。



渋沢栄一と

その思想に学ぶ



# 渋沢栄一の人を見抜く力

渋沢栄一は、約500の会社、600の社会事業にかかりました。常人には不可能としか思えないような業績ですが、もちろん一人で成し遂げたわけではありません。

彼には人を見抜く力がありました。そして適材を適所に配置することで、大勢の人々を巻き込みつつ、事業を成し遂げていったのです。

では、なぜ彼には「人を見抜く力」があったのでしょうか。

一つには若い頃から社会に揉まれていたことがあります。

中国の「三国志」の時代、切れ者の象徴だったのが諸葛孔明でしたが、一つ大きな弱点がありました。それは人を見る目がなかったこと。だからこそ子飼いの部下だった馬謖（ばしょく）の力を見誤って拔擢、作戦を大失敗させて「泣いて馬謖を斬る」という故事を残してしまったのです。

では、なぜ孔明ほどの人物が人を見る目がなかったのか。それは若いときに田舎で晴耕雨読の生活をしていて、社会に揉まれていなかったからだといわれています。

逆に栄一の場合、若いときから掛け売り商売にいそしみ、志士たちと交流し、幕臣になり、社会で揉まれ

続けました。そこで人を見る目を養っていったのです。

さらに栄一は、『論語』の次の人物鑑定法を利用していました。

・人を見るのに、現在の行動を観察するばかりでなく、その動機は何か、またどんな結果に満足するのかがまで突っ込んで観察する。そうすれば、どんな相手でも本性を隠しきれなくなる（子曰く「その以（な）す所を視、その由る所を觀、その安んずる所を察すれば、人焉（いづく）んぞ度（かく）さんや、人焉んぞ度さんや」）『論語』為政篇

この一節を栄一は、次のように解説します。

「そもそも人物を観察するのに、第一にその人の外面にあらわれた行為の善悪や正邪を視る。第二にその人のこの行為は何を動機にしているものなのかをしっかりと見極める。第三に、さらに一歩進めてその人は何に安心するのか、何に満足して暮らしているかを察知すれば、必ずその人の本当の性質が明瞭になってくる」（『論語講義』引用者訳）

簡単に言えば、「実際の行動はどうか」「その動機は何か」「何に満足して生きているのか」を見れば、相手の真実は見えてくるというのです。

いうなれば「人間通」だったからこそ、栄一はあれほどの偉人たり得た面があるのです。

作家・グロービス経営大学院客員教授 <sup>もりや</sup> 守屋 <sup>あつし</sup> 淳



## プロフィール

1965年生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。現在は作家として『孫子』『論語』『韓非子』『老子』『荘子』などの中国古典や、渋沢栄一などの近代の実業家についての著作を刊行するかたわら、グロービス経営大学院アルumnaisスクールにおいて教鞭をとる。著訳書に34万部の『現代語訳 論語と算盤』や『現代語訳 渋沢栄一自伝』、シリーズで20万部の『最高の戦略教科書 孫子』『マンガ 最高の戦略教科書 孫子』『組織サバイバルの教科書 韓非子』などがある。2018年4～9月トロント大学倫理研究センター客員研究員。

行事カレンダー

2021

## 12月 December

- 16(木) 「能登SDGs市民大学」第3回講義
- 17(金)
- 18(土)
- 19(日)
- 20(月) 七尾の未来構想委員会
- 21(火)
- 22(水) ななお創業応援カルテット連絡会議
- 23(木)
- 24(金)
- 25(土)
- 26(日)
- 27(月)
- 28(火) 仕事納め
- 29(水)
- 30(木)
- 31(金)

## 1月 January

- 1(土)
- 2(日)
- 3(月)
- 4(火) 仕事始め
- 5(水)
- 6(木)
- 7(金)
- 8(土)
- 9(日)
- 10(月)
- 11(火) 青年部理事会
- 12(水)
- 13(木)
- 14(金)
- 15(土)

2022